

月刊しばうら

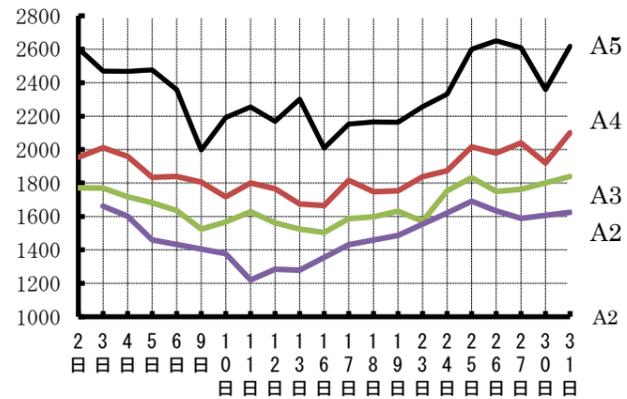
2020年4月号

牛肉営業部

<3月の相場動向>

和牛去勢A5が前月比273円安の2,342円(前年同月比458円安)、A4が同276円安の1,857円(同619円安)、A3が同241円安の1,666円(同612円安)、A2が同139円安の1,480円(同564円安)となり、交雑牛去勢はB4が前月比141円安の1,521円(同204円安)、B3が同164円安の1,338円(同275円安)、B2が同205円安の1,139円(同356円安)となった。3月に入り続落していた和牛は中旬に急落、月の後半にはやや戻したものの等級間の差はさらに広がる展開となった。交雑においても和牛ほどではないにせよ弱含みで、先行きの見通しが非常に難しく厳しい状況となっている。

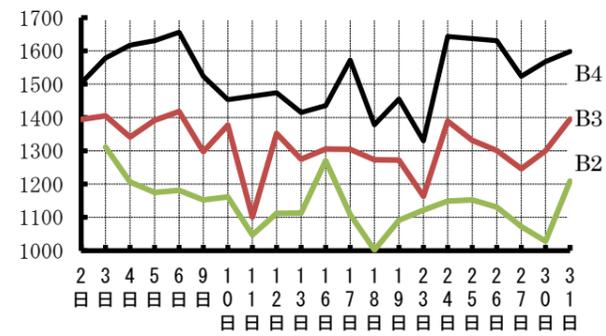
和牛去勢 日別相場表(3月)



和牛去勢(月平均)

A5	2,342円	(前年同月比 83.6%)	(前月比 89.6%)
A4	1,857円	(" 75.0%)	(" 87.1%)
A3	1,666円	(" 73.1%)	(" 87.4%)
A2	1,480円	(" 72.4%)	(" 91.4%)

交雑去勢 日別相場表(3月)



交雑去勢(月平均)

B4	1,521円	(前年同月比 88.2%)	(前月比 91.5%)
B3	1,338円	(" 83.0%)	(" 89.1%)
B2	1,139円	(" 76.2%)	(" 84.7%)

乳牛去勢(月平均)

B3	上場なし		
B2	975円	(前年同月比 99.1%)	(前月比 102.6%)

<4月の牛肉輸入量予測>

財務省が発表した輸入通関実績によると、2月の輸入量は前年同月比4.4%増の4万1868tで、うちチルドは1.0%増の1万9,185t、フローズンは7.5%増の2万2,682tとなっている。国別にみると、豪州はチルドが現地で出荷減により前月に続き1万tを大きく割り込んだのに対し、フローズンは9.4%増の1万tとなった。米国産チルドは前年が少なかった関係で前年比1割以上の増となっているが、前月並みの水準。その他ではカナダがチルドで2倍以上の1,093t、フローズンでも5割近く増加の2,201tとなっている。

農畜産業振興機構の予測による4月の牛肉輸入数量は、前年比13.9%減の5万7,900tと予測。チルドは、5.1%減の2万4,500t、フローズンは、19.3%減の3万3,400tと前年同月を大きく下回ると予測している。通常であれば新年度でTPP11の関税が下がり輸入増が見込めるところだが、新型コロナウイルスの影響により予想は難しく、外食関係に引き合いの強いアイテムは厳しいものの、スソ物などは量販店からの引き合いも強く好調に推移か。

輸入牛肉通関量		2月	前年同月	前年同月比
チルド	豪州	6,894	9,083	75.9%
	米国	10,263	8,783	116.9%
	その他	2,028	1,125	180.3%
	合計	19,185	18,991	101.0%
フローズン	豪州	10,138	9,269	109.4%
	米国	8,205	8,681	94.5%
	その他	4,339	1,421	305.3%
	合計	22,682	21,104	107.5%

単位：t 出典：食肉速報

<4月の全国出荷頭数予測>

農畜産業振興機構による4月の出荷予測頭数は、全体で前年比1.6%増の9万3,300頭と予測。品種別にみると和牛は4.2%増の4万3,400頭、交雑種は1.5%減の2万1,100頭、乳用種は0.2%減の2万7,500頭とし、和牛のみ増加、交雑種及び乳用種は減少と予測している。東京食肉市場の4月のと畜頭数は7,100頭を予定している。

<4月の牛枝肉相場見通し>

例年であれば4月は各種イベント等を契機に大型連休に向けて相場の向上とあるが、依然として新型コロナウイルスは猛威を振るっており深刻な状況となっている。輸出やインバウンド需要が停滞しているうえに都市部での飲食店の休業も目立ち始めるなか、仕上がりの良い枝肉でも以前ほどの勢いはなく和牛は上位等級ほど弱含みか。交雑牛においても和牛ほどではないにせよ弱もちあいと予測される。いずれにせよ外出やイベントの自粛要請による反面、肉食での消費に期待をするとともに一日でも早く事態が収束することが望まれる。

和牛去勢	価格予測	交雑去勢	価格予測
A5	2,000~2,100	B4	1,500~1,550
A4	1,800~1,900	B3	1,250~1,300
A3	1,600~1,700	B2	1,100~1,150
A2	1,450~1,550		
乳牛去勢			
B3	1,000~1,050		
B2	850~950		

豚肉営業部

2月の全国と畜頭数は、前年同月比0.8%増の132万2,731頭と前年同月より増加した。また、2月の豚肉通関数量は6万7,032t(前年同月比17.9%減)と前年同月を大幅に下回り前月比でも5,300t減少した。内訳はチルドが3万5,014t(17.3%増)、フローズンは前年同月が日欧EPA発効直後で増えた反動もあり、3万2,018t(38.2%減)と大幅に減少した。

2019-2020年の需給量と推定期末在庫						
月	供給量		推定期末在庫		推定出回り量	
	生産量	輸入量	国産物	輸入物	国産物	輸入物
2	75,590	81,638	19,818	147,097	72,334	78,787
3	74,058	68,303	21,221	145,268	72,588	70,432
4	77,788	98,235	22,544	167,222	76,406	76,281
5	75,254	84,396	21,643	184,963	76,085	66,655
6	67,048	76,246	23,332	183,952	65,290	77,257
7	74,899	83,315	21,828	192,531	76,348	76,736
8	67,745	84,982	20,615	200,018	68,891	77,385
9	68,819	78,125	20,351	197,854	69,025	80,399
10	79,112	83,940	20,128	198,840	79,247	82,954
11	77,534	82,715	21,804	191,175	75,817	90,380
12	80,884	72,264	20,806	181,469	81,783	81,970
1	80,864	72,280	21,474	187,738	80,150	66,011
2	73,425	66,987	23,077	185,042	71,714	69,683
比	101%	82%	116%	126%	99%	88%

比：最終月の前年同期比 出典：農畜産業振興機構 単位：t、%

2月豚肉通関実績						単位：t、%		
国名	冷蔵	前年比	国名	冷凍	前年比			
アメリカ	16,773	114.9	デンマーク	4,329	33.8			
カナダ	17,445	121.1	スペイン	7,050	61.7			
メキシコ	793	92.9	メキシコ	6,782	97.7			
			アメリカ	3,480	88.2			
			カナダ	1,821	74.8			
合計	35,014	117.3		32,018	61.8			

<3月の豚取引の推移>

上旬	全国と畜頭数	上物価格	中物価格	上場頭数
2日	67,000	428	395	742
3日	67,300	430	391	917
4日	65,500	464	404	738
5日	67,200	452	407	794
6日	62,400	451	409	948
9日	64,800	499	433	632
10日	68,300	485	453	881
平均	66,071/日			807/日

家庭内消費の高まりにより引き合いが強まったことで相場が450円前後の強もちあいでも推移したが上中の価格差が開く展開となった。

中旬	全国と畜頭数	上物価格	中物価格	上場頭数
11日	68,200	480	427	660
12日	67,500	479	424	736
13日	65,400	477	437	880
16日	70,100	473	422	658
17日	72,000	494	466	920
18日	73,100	501	439	774
19日	74,700	505	451	879
平均	70,142/日			786/日

全国と畜頭数は16日から7万頭を上回り、連休の需要増加を見込んだ駆け込みの手当などにより上物相場は上昇傾向となり、18日には500円を上回る展開となった。

下旬	全国と畜頭数	上物価格	中物価格	上場頭数
23日	68,300	448	421	774
24日	70,000	489	440	843
25日	67,400	495	434	677
26日	66,500	503	457	659
27日	65,100	506	471	798
30日	64,100	517	479	674
31日	64,200	547	509	906
平均	66,514/日			761/日

連休明けの枝肉相場は、量販店の売り上げが大きく伸びたことから、需要の端境期でありながら底堅い展開となった。部分肉の冷蔵品は気温上昇に伴いバラの動きは鈍くなってきたがロースやヒレの引き合いは強まってきた。しかし、学校給食が止まりスソ物の動きは鈍い状況となった。

<4月の豚枝肉相場見通し>

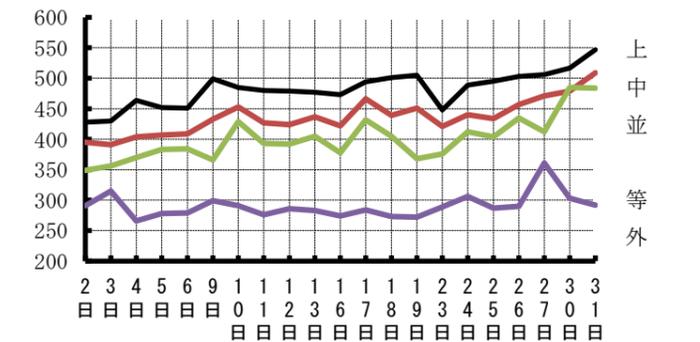
農林水産省による4月の肉豚出荷予測では134万3,000頭(前年比96%)と予測している。当市場の4月集荷予定頭数は1万6,000頭、1日あたりでは約762頭を見込んでいる。

農畜産業振興機構によると4月分の豚肉輸入見込数量は、総量で7万7,400t(同78.8%)、内訳はチルドが3万5,100t(同97.2%)、フローズンは4万2,300t(同68.1%)と予測。

冷蔵輸入量は、前年同月をわずかに下回ると予測する。3ヵ月平均では、前年同期をやや上回ると予測する。冷凍品輸入量は、前年同月の輸入量が日EU・EPA及びTPP11が2年目の税率に引き下がることを見越して輸入業者が一部の通関を4月に先送りしたことに加え10連休の需要に向け多めに手当てしたことにより多かつたことから、前年同月を大幅に下回ると予測する。なお3ヵ月平均では、前年同期を大幅に下回ると予測する。

例年4月は行楽シーズン、入学式、学校給食の再開による需要増加で豚肉需要は盛り上がりを見せる時期となるが今年は新型コロナウイルスの影響により国内の消費動向は不安定な状況が続くそう。GW期間もこのまま外出自粛が続けば旅行や帰省が減ることで家庭内消費が一層強まる可能性もある。肉豚出荷頭数はこれから夏にかけて頭数が落ち込む時期となるが今年はさらに前年を下回ることが予想され、出荷頭数次第では相場への影響もありそう。以上のことから当市場の上物平均価格は530円前後、中物平均価格500円前後の展開と予測する。

豚 日別相場表(3月)



東京都港区港南2-7-19

東京食肉市場株式会社

TEL:03-3740-3111 FAX:03-3472-0127